

周術期に注意が必要な女性ホルモン製剤一覧表

◆注意

- ・女性ホルモン製剤は卵胞ホルモン製剤、黄体ホルモン製剤などがあり、術後の静脈血栓塞栓症の危険因子の一つです。
- ・手術前の休薬期間については各薬剤の添付文書、国内ガイドラインを参考に婦人科と協議し、当院の基準としています。
- ・この休薬期間はあくまでも目安であり、患者ごとの血栓症・塞栓症発症のリスクに応じて各診療科でご判断ください。

赤字：添付文書で【禁忌】と記載されているもの

黒字：添付文書で【慎重投与、重要な基本的注意、特定の背景を有する患者に関する注意】と記載されているもの

| 分類 | 成分名 | 休薬期間 | 添付文書 | 商品名 | |
|------------------|------------------|------------------------|----------------------|---|--|
| 卵胞ホルモン・黄体ホルモン製剤 | 中用量ピル | 術前4週間、術後2週間 産後4週間 | 重要な基本的注意 ※2 | プラノバル配合錠 | |
| | 低用量ピル (薬価未収載) | デノゲストレル・エチニルエストラジオール | 術前4週間、術後2週間 産後4週間 | 禁忌※1 | マーベロン錠21,28 ファボワール錠21,28 |
| | | ノルエチステロン・エチニルエストラジオール | | | シンフェーズT28錠 |
| | | レボノルゲストレル・エチニルエストラジオール | | | アンジュ21,28錠、トリキュラー錠21,28 ラベルフィーユ21,28錠 |
| | 月経困難症 | ノルエチステロン・エチニルエストラジオール | 術前4週間、術後2週間 産後4週間 | 禁忌※1 | ルナベル配合錠LD/ULD フリウェル配合錠LD/ULD |
| | | ドロスピレノン・エチニルエストラジオール | | | ヤーズ配合錠 ドロエチ配合錠 ヤーズフレックス配合錠 |
| | | レボノルゲストレル・エチニルエストラジオール | | | ジェミーナ配合錠 |
| | 閉経後骨粗鬆症 | エストラジオール・レボノルゲストレル | 術前4週間 | 特定の背景を有する患者に関する注意 ※3 | ウェールナラ配合錠 |
| | 更年期障害 | 酢酸ノルエチステロン・エストラジオール | | 慎重投与 ※4 | メノエイドコンビパッチ |
| | 高用量黄体ホルモン製剤 | メドロキシプロゲステロン酢酸エステル | 術後1週間 | 禁忌※1 | ヒスロンH錠 メドロキシプロゲステロン酢酸エステル錠200mg |
| 卵胞ホルモン製剤 | 結合型エストロゲン | 術前4週間 | 特定の背景を有する患者に関する注意 ※3 | プレマリン錠 | |
| | エストリオール | 術前4週間 | | エストリール錠、エストリオール錠 エストリール膈錠、ホーリン錠、ホーリンV膈用錠 | |
| | エストラジオール | | | ジュリナ錠、エストラジオール錠、エストラーナテーブル・エストロジェル、ディビゲル | |
| S E R M | 閉経後骨粗鬆症 | ラロキシフェン | 術前3日前～術後歩行開始まで | 禁忌※1 | エビスタ錠、ラロキシフェン塩酸塩錠 |
| | | バゼドキシフェン | 術前3日前～術後歩行開始まで | | ビビアント錠、バゼドキシフェン錠 |

- ※1 禁忌・・・手術前4週間以内、術後2週間以内、産後4週間以内及び長期間安静状態の患者（血液凝固能が亢進され、心血管系の副作用性が高くなることがある）
- ※2 重要な基本的注意・・・年齢、喫煙、肥満、家族歴等のリスク因子の有無に関わらず血栓症が現れることがあるので、症状が現れた場合は直ちに投与を中止する
- ※3 特定の背景を有する患者に関する注意・・・術前又は長期臥床状態の患者（血液凝固能が亢進され、心血管系の副作用が高くなる）
- ※4 慎重投与・・・術前又は長期臥床状態の患者には慎重に投与すること(血液凝固能が亢進され、心血管系の副作用の危険性が高くなる)

◆参考文献：

- ・添付文書
- ・OC・LPEガイドライン2015年版
- ・ホルモン補充療法ガイドライン2017年度版

2017.05.15 薬剤部・婦人科作成

2023.08.28 改訂